3 今月の青果物

キャベツ類

主要産地のキャベツ類の入荷量（東京都中央卸売市場）

産地	2022年度3月入荷量	2022年度3月シェア率
千葉	3,373 t	19.4 %
群馬	209 t	1.2 %
愛知	9,341 t	53.7 %
神奈川	3,940 t	22.7 %

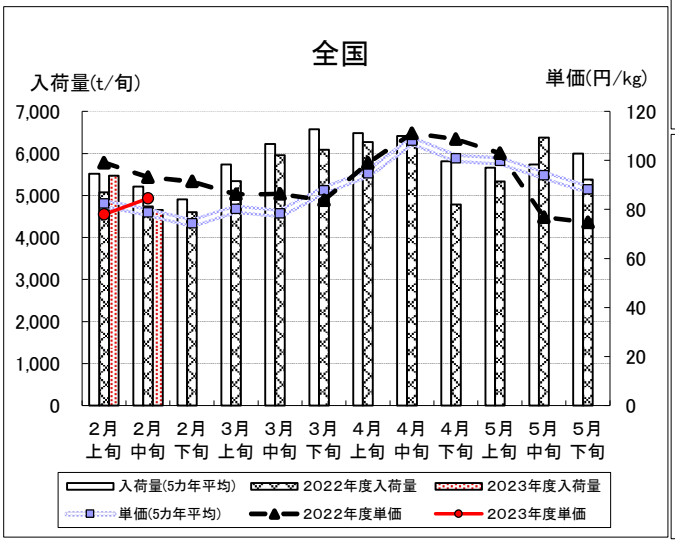
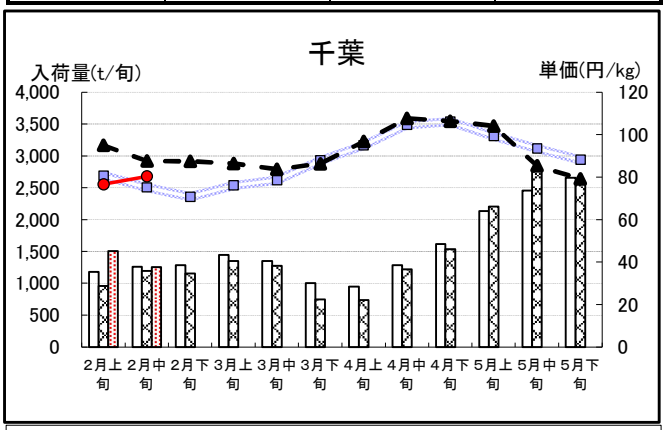
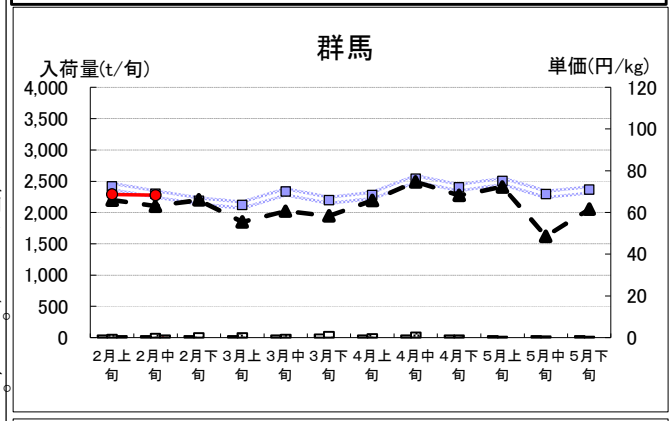
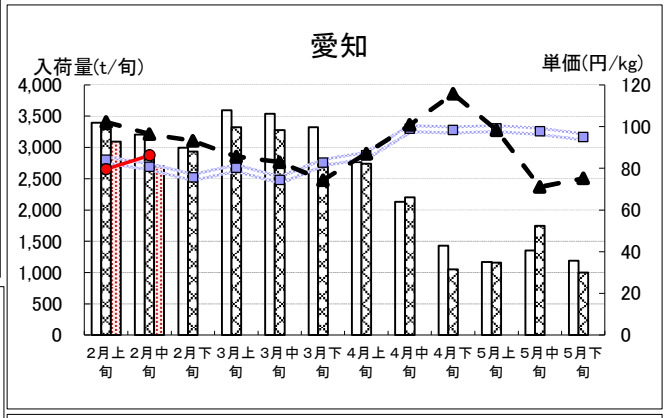
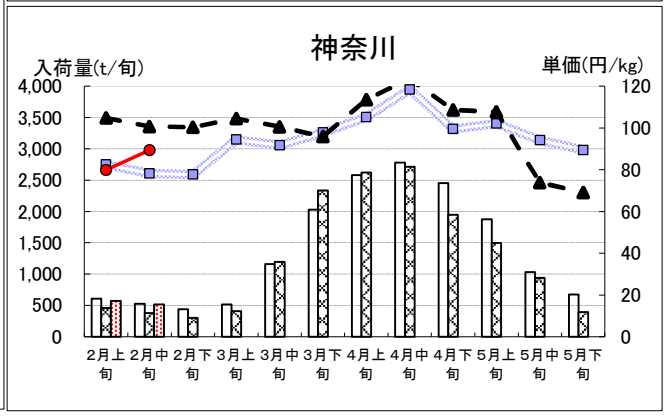
3月入荷予測	17,000t（前年比97.8%、平年比91.7%）		
3月価格予測	90円（前年比105.4%、平年比109.3%）		
3月市況予測	（上旬） 保合 ⇒	（中旬） 保合 ⇒	（下旬） 強保合 ⇗

今後の競合産地の動向は?

令和5年の東京都中央卸売市場の年間入荷量シェアは、1位群馬県（26%）、2位愛知県（25%）、3位千葉県（22%）でした。

キャベツ類は、比較的冷涼な気候を好むため、南から北へ、平地から高原へと産地をつなぎ、周年で供給されています。また、出荷時期によって春キャベツ、夏秋キャベツ、冬キャベツに分類され、千葉県産は主に春キャベツの産地です。

キャベツ類は野菜の中で最も購入量が多く、販売価格に関係なく、安定して購入される品目です。また、小売価格は200円/kg前後と安定しています。近年は、需要が増加している外食・中食の基本食材であることから、巻きが固く歩留まりの良い冬系（寒玉）の需要が増加しています。

今作は各産地、生育順調かつ前進傾向となっています。そのため、愛知県産は切り上がりがやや早まる見込みです。一方、千葉県産と出荷のピークが重なる神奈川県産の春キャベツの生育もやや早く、今月中旬以降、潤沢な出回りを見込んでおり、大きな端境はない見込みです。

降雨によっては、入荷量が一時的に減少することもありますが、入荷量は前年並で、平年よりやや下回る見込みです。